

2026 年 9 月 11 日

【お知らせ】

会 社 名 B R A N U 株 式 会 社
代表者名 代 表 取 締 役 名 富 達 也
(コード番号：460A 東証グロース市場)
問合せ先 取 締 役 C F O 宇 都 宮 久 之
(TEL 03-5413-4820)

**建設 AX を推進する AI 戦略プロジェクト「BRANU AXIS」を始動
～建設 AI コア「BRANU BRAIN」を軸に、中小建設企業の AI 活用を推進～**

建設 DX プラットフォーム事業を展開する BRANU 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：名富 達也、証券コード：460A）は、中小建設企業の AX を推進する AI 戦略プロジェクト「BRANU AXIS（ブラニュー アクシス）」を始動します。

当社は「BRANU AXIS」を通じ、「CAREECON Platform」を中心とする AI プロダクトにおいて、業務を担う AI エージェントから、自律的にタスクを組み立て行動するエージェントィック AI、企業固有のデータや判断基準を理解し経営を支えるコーポレート AI へと進化させてまいります。将来的には企業間の AI 連携による A2A ネットワークへ発展させ、AI の活用領域を業務から企業、業界へと広げ、人と AI がそれぞれの強みを生かせる建設業を目指してまいります。

詳細は別添をご覧ください。

以上

建設 AX を推進する AI 戦略プロジェクト

「BRANU AXIS」を始動

～建設 AI コア「BRANU BRAIN」を軸に、中小建設企業の AI 活用を推進～



建設 DX プラットフォーム事業を展開する BRANU 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：名富 達也、証券コード：460A、以下ブラニュー）は、中小建設企業の AX を推進する AI 戦略プロジェクト「BRANU AXIS（ブラニュー アクシス）」を始動します。

■ 「BRANU AXIS」始動の背景

建設業界では、担い手不足や高齢化、時間外労働の上限規制を背景に、限られた人員で生産性を高めることが求められています。その対応の一環として DX が進み、これまで紙や個人に依存していた情報をデータとして記録・蓄積できる環境も整いつつあります。

次に問われるのは、そのデータをどう事業に生かすかです。情報をデジタル化するだけでなく、AI が内容を理解し、業務や経営の状況に応じた判断やアクションを支援する。DX で築いた基盤の上で、AI を前提に業務プロセスや意思決定を変革する AX（AI Transformation）が、建設業界における次のステージです。

ブラニューは「CAREECON Platform」を通じて中小建設企業の DX を支援し、建設事業に関するデータや知見を蓄積してきました。さらに、それらを AI が理解・活用する土台となる建設 AI コア「BRANU BRAIN」を開発し、建設業における AI 活用を進めています。

DXで築いてきた基盤をAXへ発展させ、AIを建設業の新たな成長エンジンへ。その取り組みを一つの軸で推進するのが、AI戦略プロジェクト「BRANU AXIS」です。

■AI戦略プロジェクト「BRANU AXIS」について



「BRANU AXIS」は、建設 AI コア「BRANU BRAIN」と建設 AX プラットフォーム「CAREECON Platform」を軸に、DXで蓄積してきたデータを活用し、中小建設企業の業務プロセスや意思決定をAIで変革するAX（AI Transformation）を推進するAI戦略プロジェクトです。

ブラニューはこれまで、「CAREECON Plus」において、建設事業の複数領域を支援するAIエージェントを実装してきました。同時に、「CAREECON Platform」を通じて得られる建設事業のデータや知見を「BRANU BRAIN」に蓄積し、AIが横断的に理解・活用するための土台を構築しています。

今後は、AIプロダクトの開発や研究開発、活用支援、他社との技術・サービス連携を「BRANU AXIS」のもとで一体的に展開。それぞれの取り組みで得られる知見を循環させ、研究や開発の成果をプロダクトへ反映するとともに、実際の利用から得られる課題やデータを次の開発へ生かしていきます。

また、「BRANU AXIS」の始動に伴い、プロジェクトの全体像や建設AIコア「BRANU BRAIN」、AIプロダクト、今後のロードマップを紹介する特設ページを公開しました。

BRANU AXIS 特設ページ： <https://branu.jp/axis>

■人とAIが協働する建設業へ



ブラニューは「BRANU AXIS」を通じて、「CAREECON Platform」を中心とするAIプロダクトを段階的に進化させていきます。

現在は、特定の建設業務を自動・半自動で実行するAIエージェントと、複数のAIエージェントを横断して活用するAIアシスタントを展開。次の段階では、目的に応じて必要なタスクを自ら組み立て、自律的に行動するエージェンティックAIへと発展させます。

その先に見据えるのは、企業固有のデータや実績、技術、判断基準を理解し、経営判断を支えるコーポレートAIです。さらに、「CAREECON」が持つ企業間ネットワークを土台に、各社のコーポレートAI同士が連携するA2Aネットワークへと発展。企業を越えた協業やリソース活用まで支援し、AIが担う範囲を業務から企業、そして業界へと広がっていきます。

AIが担える領域を広げることで、人は現場で培ってきた技術や経験を、より価値の高い仕事に生かせるようになります。AIに任せられることはAIが担い、人は人にしかできない仕事に向き合う。人とAIがそれぞれの強みを発揮し、共に事業を支える建設業へ。「BRANU AXIS」を通じて、そのビジョンの実現をしていきます。

■代表取締役 名富 達也のコメント

建設業は、人の経験や技能によって支えられてきた産業です。AI時代だからこそ、現場で積み重ねてきた技術や経験の価値は、むしろこれまで以上に高まっていきます。

私たちが目指すAXは、その価値をAIで置き換えることではなく、DXによって蓄積してきたデータをAIが理解し、現場や経営のなかで活用することで、人や企業が持つ力をさらに引き出していくことです。個人の経験として蓄積されてきた知見を次の世代へ受け継ぎ、企業ごとの強みをより生かせる状態をつくる。そこにAIを建設業の新しい力として根付かせていく意味があります。

その先に見据えているのがA2Aネットワークです。企業ごとのコーポレートAIがそれぞれの状況や強みを理解し、「CAREECON」が持つ企業間ネットワークを土台に、コーポレートAI同士も連携することで、企業同士のコラボレーションのあり方も変わっていく。AIが一社の業務を支えるだけでなく、企業を越えた連携まで支えるようになれば、建設業界全体に新しい可能性が生まれます。

AIを中核技術として、業務の進め方から経営、企業同士のつながりまで変えていく。それが、私たちの考える建設AXです。現場で働く人の価値をもっと高い位置へ引き上げ、企業が成長し、次の世代からも選ばれる建設業。「BRANU AXIS」を、これからの建設業界を支える「新しい軸」にしていきます。

■CAREECON Platform について

「CAREECON Platform」は、建設事業者向けマッチングサイト「CAREECON」とマーケティングから採用管理、施工管理、経営管理まで行える建設業向け統合型ビジネスツール「CAREECON Plus」からなる建設DXプラットフォームです。SMBに特化した機能開発と、導入から運用まで伴走し続けるDXコンサルティングサービスで、契約社数は6,500社（2026年4月末時点）を超えています。

URL：<https://careecon.jp>（CAREECON）

URL：<https://careecon-plus.com/>（CAREECON Plus）

■BRANU 株式会社について

BRANU 株式会社（ブラニュー）は、「建設業界をテクノロジーでアップデートする。」というビジョンのもと、建設DXプラットフォーム「CAREECON Platform（キャリコン）」を通じて建設業界の変革に取り組んでいます。

社名：BRANU 株式会社

証券コード：460A

本社所在地：東京都港区六本木6-1-24 ラピロス六本木4F

設立：2009年8月18日

代表者：代表取締役 名富 達也

事業内容：建設業向けデジタルトランスフォーメーション事業

URL：<https://branu.jp>（コーポレートサイト）

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】
BRANU 株式会社 経営企画室 広報担当 吉田
mail: media@branu.jp